

まちづくりはひとづくり “ぎふのまち”に未来の“人財”の種を蒔こう!

中高生に対する新たな人財育成の取り組み

岐阜JCでは、中高生に対する“人財”育成の調査研究の取り組みとして、2つの事業を行いました。1つは、中高生が「働く意義・学ぶ意義」を考えるための6月例会、もう1つは中高生が主体的にまちづくりに関わる「岐阜JC中高生サポーター」活動です。これらの事業を通して“ぎふのまち”の次世代の“人財”育成に取り組み、行政、学校関係者に向けて「人財育成に関する調査研究報告書」を発表しました。

岐阜JC中高生サポーター活動

岐阜市とその近郊に在住する29名の中高生に、「岐阜JC中高生サポーター」として、岐阜JCの「ひとづくり・まちづくり」運動にボランティアとして参加していただきました。

【岐阜JC中高生サポーター会議】

「岐阜JC中高生サポーター」が“ぎふのまち”に出て中心市街地の現状を知り、自分たちのまちについて改めて考え、意見交換する機会を創りました。そして、自分たちの力で何ができるかを考え、「スイーツフェスタぎふ2009」に向けてプロジェクトを企画し、実行するためのプロセスを体験してもらいました。

【「スイーツフェスタぎふ2009」内イベント企画・実施】

若い力で“ぎふのまち”の未来を創りたいという想いを込めて、約1ヶ月をかけてお菓子（マジパン）で“ぎふのまち”を制作しました。当日は、“ぎふのまち”を紹介するパネルの展示も行いました。イベントに訪れた子どもたちと一緒に、作成した「お菓子のぎふのまち」に人形やハートのオブジェを飾って完成させ、みんなの笑顔が溢れるイベントになりました。

岐阜JCが考える人財育成に必要な3要素



教え導く人の存在

地域のための活動を自ら考える

同じ想いを持つ仲間との出会い



活動を通じての中高生の声



“自分と同じ想いを持つ仲間が存在が嬉しく、これからも一緒に活動したいと思った。”

“自分たちで企画、実行することの大切さと同時に、一から作り上げることの楽しさを感じた。”

“自分たちが取り組んできたことが、地域のためになって楽しかった。”

「同じ想いを持つ仲間と共に地域のために活動する組織を設立したい」

岐阜ユナイテッドチルドレン（岐阜UC）設立

8月、「岐阜JC中高生サポーター」の有志が岐阜UC設立の意思を表明したことを受け、岐阜JCは、岐阜UC設立支援と、活動への支援を行いました。9月13日には、岐阜UC設立総会が開催され、24名の中高生からなる岐阜UCが設立されました。

10月のぎふ信長まつりでは、ファーストプロジェクトを実施し、活動の第一歩を踏み出しました。今後も岐阜JCは、岐阜UCを支援し、中高生による地域での活動を応援していきます。

※UC(United Children)とは

中高生を中心とした若者が、「僕たちの力で、僕たちの未来を創りたい」という想いを胸に社会への挑戦を通じて成長することで「未来の日本・世界を動かす人を創る」ことを理念とした団体です。2002年、4人の若者により結成されたUCは、現在全国の22の地域に設立されており、その活動はさらに広がり続けています。



設立総会



ファーストプロジェクト（清掃活動）

【岐阜UCのこれからと“ぎふのまち”の未来】

岐阜JCは、中高生が岐阜UCのメンバーとして、継続的なまちづくり活動に挑戦していくことで、まちに愛着を持ち、主体的に行動できる“人財”へと成長していくと考えています。

彼らが岐阜UCでの経験を活かし、UCを卒業しても後輩を教え導く存在となることで、若い世代全体にまちづくりの取り組みが広がっていくと考えます。

また、若い世代が地域で活動することにより、大人たちの意識を向上させ、市民力を高めることも繋がっていくと信じています。

私たち地域の大人が、学校、行政と連携して、まちづくり活動に積極的に取り組んでいく姿勢を見せ、教え導いていくことが、中高生の“人財”育成に必要なだと考えています。

【担当：ひとづくり探究委員会】

青少年の健全な心身育成の取り組み

「スポーツチャレンジぎふ2009」の開催

～輝け子どもたち!大人たちの愛に育まれて!～

子どもたちの健全な心身の育成には、子どもたちの絆と大人たちの愛が大切です!

7月19日、岐阜メモリアルセンター「で愛ドーム」にて、青少年の健全な心身育成を目的に「30人31脚」に挑戦してもらう「スポーツチャレンジぎふ2009」を開催しました。第4回目となる本年は、岐阜市を中心とした地域の小学校から18校33チーム、約800人の子どもたちが参加し、練習、大会を通じて子ども同士の絆を深めることができました。また、大人が子どもたちの挑戦を応援することで、大人と子どもの絆も、より強いものとなりました。

共催：岐阜県ぎふ清流国体推進局、(社)大垣青年会議所、(社)各務原青年会議所、(社)羽島青年会議所
後援：岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜市、岐阜市教育委員会、岐阜市体育協会、岐阜市PTA連合会
協力：学生放送研究会、岐阜聖徳学園大学「柳」、岐阜大学陸上部、(株)岐阜フットボールクラブ、アーククララ中部、キリンビバレッジ(株)(順不同)

「30人31脚」への挑戦で子どもたちの絆が強くなりました!

～体験談～ 岐南町立西小学校 眞鍋先生

クラスで話し合い、みんなで挑戦することを決めました。練習を始めると足が揃わなくて、歩くこともできませんでした。また、「女子の隣はいやだ」「この子と肩を組むのはいやだ」というクラスの問題が浮き彫りになりました。その度にクラス会を開き、子どもたちで話し合いをさせ、ひとつひとつ解決していきました。クラスのみんなで困難を乗り越えていくにつれクラスがまとまり、「30人31脚」の練習でも転ばず走ることができるようになりました。「30人31脚」への挑戦を通じて子どもたちはクラスの問題を解決し、誰とでも仲良く協力して物事に取り組めるようになりました。



子どもたちが大人たちの愛で輝きました!

保護者からの愛



肩を組んで歩くことすらできなかった子どもたちを練習から見守っていただきました。練習を重ね、仲間と共に成長していく姿に多くの保護者が感動しました。

大会当日は、手作りの横断幕を持って、ゴールで応援していただきました。仲間と一緒にゴールへ飛び込んでくる姿に愛おしさを感じ、子どもたちと共に喜び合いました。親子の絆を深めることができた瞬間でした。

先生からの愛

学校の先生には、練習から本番まで愛情を持って熱心に指導していただきました。子どもたちもその愛情に応えて、仲間と一緒に成長し、先生と子どもたちの絆がより深くなりました。

大学生からの愛



岐阜大学陸上部



学生放送研究会
(岐阜大学・東海学院大学)



岐阜聖徳学園大学
よさこいサークル「柳」

地元の大学生に「子どもたちが輝く場を創るために協力してほしい」と呼びかけたところ、快く協力していただきました。岐阜大学陸上部の皆さんはスターターと計測、学生放送研究会の皆さんは実況サポート、岐阜聖徳学園大学「柳」の皆さんは「よさこい踊り」を披露し、最後はみんなで手を繋いで輪になって一緒に踊りました。地元の大学生が協力してくれたことで、子どもたちをより輝かせる大会を創ることができました。

【担当：スポーツチャレンジ委員会】



社団法人 岐阜青年会議所
Gifu Junior Chamber, Inc.

〒500-8833 岐阜市神田町2-2 岐阜商工会議所ビル内 TEL. 058-264-8090 FAX. 058-264-0444
URL: http://www.gifujc.or.jp E-mail: gifujc@ccom.or.jp

◆発行者◆ (社)岐阜青年会議所 理事長/内藤 宙
◆編集者◆ 担当副理事長/玉田 弘毅 担当室長/末武 悟
広報委員会 委員長/清水 潤之助 (編集責任者) 副委員長/河田 菊夫/田浦 潤/豊田 賢司/森崎 将隆
委員/市橋 英二/神谷 慎一/後藤 憲治/野尻 哲也/松浦 順吉/渡邊 陽一/古賀 義浩/堀 隆男
◆協力◆ 荻田ユニコン (株)

私たちと一緒に活動しませんか?

(社)岐阜青年会議所は、会員数180名を擁する全国でも有数の青年会議所です。岐阜市や近郊の地域で活躍する20代・30代の青年経済人が中心となって活動し、毎年多くの方に新入会員として加わっていただいております。「明るい豊かな社会」の実現に向け、次代の担い手たる責任感を持ったリーダーとなるために、「ひとづくり・まちづくり」運動を通じて、会員間のみならず行政や地域住民の方々ともネットワークを広げ、互いに切磋琢磨しながら個々の資質向上に励んでいます。私たちの活動に興味を持たれた方はお気軽にお問い合わせください。

皆様の声をお聞かせください

私たちの運動に対してお気づきの点やご意見、ご質問などがございましたら、ホームページからお気軽にお問い合わせください。

岐阜JC

検索